



石塚 剛 議員

質問
子育て支援の現状と
今後について

答弁
伴走型相談支援の拡充と
わかりやすい施策展開に努める

石塚議員の
質問動画



議員

当市の産前産後の子育て相談体制の現状について伺う。

保健衛生部長

保健師面談やテレビ電話で面談、継続的支援が必要な場合、訪問や電話面談等こまめに対応している。産後うつ傾向のある方は、早めの新生児訪問、その他の産婦も全戸訪問を実施、産後の体調や子育て不安、乳幼児の生育など相談を行っている。また、子どもの成長に合わせて個別相談や、のびのび子育て相談で、保護者にも継続的な関わりができています。更に子育て支援アプリでサポートを行っている。

議員

0歳から2歳児子育て世代への支援の現状を伺う。

福祉部長

出産祝金事業、多子世帯子育て応援金事業を実施している。さらには、認可保育所等を利用する保護者に対し、2人目以降の3歳未満児の保育料を助成する多子世帯利用者負担額助成事業を行っている。

議員

0歳から2歳児子育て世代は、国の支援も手薄であり、おむつ、ミルクの購入補助の新たな支援を提案するが、市の考えを伺う。

福祉部長

県内でおむつクーポンやおむつ代の補助を行う自治体もあり、議員提案の循環型支援を参考に子育て支援策の検討を進めていく。

議員

子育て支援について市長に伺う。

市長

子育て支援は大変重要であり、地域や行政、更には国の抜本的なサポートの必要性が急務であると感じている。当市の子育て支援は、伴走型の切れ目のないのが市の特徴でもある。今後Aーまちづくりやアグリサイエンスバレーで若い世代の人口流入も考え、更なる支援拡充や当市の子育て支援策を分かりやすく訴えられるような施策展開にしていきたい。

議員

子育て支援拡充とライフステージに合わせた伴走型相談支援体制の充実をお願いする。



倉持 守 議員

質問
中心市街地活性化の
展望について

答弁
既存商店への補助金、中心市街地等の問題について積極的に検討していく

倉持議員の
質問動画



議員

水海道中心市街地は空き店舗が多くなり、平成31年に調査したコンサルタントの報告書によると、水海道公民館の機能を市民の広場に隣接した空き店舗に持たせ、旧報徳銀行など文化財建造物の活用を図るとあったがその後の進展は。

産業振興部長

市民の広場について、その後市民団体等に意向調査をした結果、半数以上がイベントの利用を望んでいることから、市民の広場と旧報徳銀行の一体的活用に取り組んでいきたいと考える。

議員

市民の広場を、イベントを中心として活用するのであれば屋根付きの建物が必要と考えるが市の考えは。

産業振興部長

あらゆる可能性を視野に入れ検討する。

議員

既存の商店の事業継承につながる施策を伺う。
商工会と連携し補助金活用を進

議員

どのような補助金を想定しているか。市単独の補助に国や県の補助金も併せて活用をお願いする。

商工観光課長

空き店舗活用事業補助金、中心市街地活性化補助金、創業新事業展開支援補助金がある。中心市街地活性化補助金については今よりも幅広く活用できるようにあらゆる可能性を探り活用したいと考える。

議員

水海道公民館、武道館及び水海道中心市街地の駐車場確保について問う。

教育部長

水海道公民館については、官民連携の方策を含め安全性の確保を優先して検討する。

議員

駐車場は買い物客や駅利用者には必要である。

産業振興部長

今後コミュニティバスのほか、公共施設の活用状況を踏まえて総合的に検討したい。